



白石区第2地域包括支援センターだより

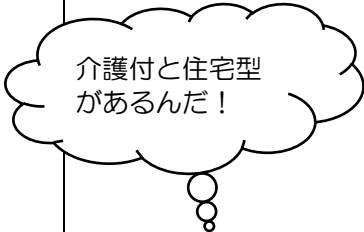
秋号



暑くて長い夏が終わり、すっかり秋の景色となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。冬が厳しい北海道では、雪が降る前に高齢者住宅への入居を検討される方も多いようです。しかし、住宅の種類がたくさんあって「どう選んでいいかわからない」という方も多いと思います。そこで今回は高齢者の住まいの種類についてまとめてみました。

○高齢者の住まいの種類・特徴

種類		特徴
特別養護老人ホーム 【原則として要介護3～要介護5の方が利用できます。】		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に常時介護が必要で自宅では介護が困難な高齢者等が入所します。 費用は抑えられますが、満室の施設も多いため入居に時間がかかることもあります。
介護老人保健施設 【要介護1～要介護5の方が利用できます。】		<ul style="list-style-type: none"> 病状が安定し、リハビリテーションに重点をおいたケアが必要な高齢者等が入所します。 介護を必要とする高齢者等の在宅復帰や在宅療養支援などを行うための施設です。
介護療養型医療施設（病院・診療所）		<ul style="list-style-type: none"> 療養上の医療を必要とする方のための施設で、病状が安定期にあり、長期間にわたる療養や介護が必要な方のための医療機関の病床です。
有料老人ホーム	介護付	<ul style="list-style-type: none"> 24時間介護職員が常駐し、掃除や洗濯など身の回りの世話や、食事、入浴、排せつなどの身体介助サービスが受けられます。 入居要件も施設により異なり、介護度が軽い方から重い方、寝たきりの方、認知症の症状がある方など幅広く受け入れています。
	住宅型	



<p>サービス付き高齢者向け住宅</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中は生活相談員がいて、安否確認や生活相談などのサービスが受けられます。 ・介護が必要になった時は外部や併設の介護サービスを利用し、生活することが可能です。
<p>認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の状態にある高齢者が5~9人を1ユニットとして家庭的な雰囲気の中で介護職員による入浴、排せつ、食事などの日常生活の支援が受けられます。 ・施設と同じ市区町村に住民票がある方が条件です。
<p>軽費老人ホーム</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が安価な費用で入居することができます。 ・A型(食事付)、B型(原則自炊)、ケアハウス(食事付)の3種類があります。 ・主に自立、あるいは要支援者の高齢者を受け入れます。
<p>養護老人ホーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する施設です。 ・居住地の区役所保健福祉課が申し込み先になります。



包括支援センターでは住まいに関する相談にのったり、住宅紹介業者などの紹介をすることができますのでお気軽にご相談ください。



発行：札幌市白石区第2地域包括支援センター

〒003-0003 札幌市白石区東札幌3条3丁目7-25 (株)シヴァビル5階

電話 837-6800

